

# 英語文法演習 休校中の課題(1) 「時制」

時制の問題を解くにあたって、いくつかのポイントをまとめてみました。

## 1. 進行形

(1) 瞬間の動作 進行形はある出来事が起こった時、その瞬間何をしていたかを表す特性があります。

**Practice 6** →①「明かりが消えた瞬間、私たちはテストを受けていた。(こんなタイミングで停電なんか起こるか?!)」この場合「出来事」とは「明かりが消えた」ことですね。その瞬間何をしていたか、を表すために 'were doing' と進行形にしています。

**Practice 27** →②「私が到着したその瞬間フランクは娘がベートーベンを弾いているのを聞いていた。」この場合の「出来事」は「私が到着した」ことになりますね。

## (2) 進行形にならない動詞

いったんある状態になったら、その状態がしばらく続くという意味の動詞は進行形にはなりません。I have a brother.「私は弟がいる」の have =「いる」は今も弟がいるけど3分後にはなくなる、何てこと起こるわけがありません。瞬間的な動作を表す進行形には向きません。

**Practice 8** →①「今のところ私はテニス部に所属している(いつやめるかわからんけど)」の「所属する」も瞬間的な動作ではありません。

## (3) 近い未来を表す進行形

現在進行形には近い未来を表す用法があります。個人的な予定を表す時が多く、「～することになっている」という訳し方が多いようです。

**Practice 5** →答①'tomorrow morning' と未来のことを言っている文なのですが、will とか be going to など未来を表す定番の表現が見当たりません。④の be about to ...「今まさに～するところだ」と意味で to ～は to-不定詞の to なので leaving が来ているのはオカシイですね。

## (4) 未来進行形

**Practice 7** →答④未来進行形 will be ～ing 見ただけで「？」ですよね。「～しているだろう」という雰囲気のを訳しますが、こいつはそんなにホイホイ出てくるものではありません。問題にあるように 'at this time tomorrow' 「明日の今頃は」という、特有の表現がたいはい入っています。これを見たら未来進行形じゃないかな、と見当がつかず。'at this time ...' に気をつけろ!

## 2. 完了形

進行形と違って完了形はある瞬間の動作ではなく、動作が終わった、という雰囲気を表します。特徴的なのは「動作が完了」するためには必ず「いつまで」に完了したのか期限を表す言葉が入ってくることです。

### (1) 現在完了形

**Practice 9** →② 目の付け所は for six years「6年間」です。今年が6年目だという期限になっています。

**Practice 13** →③ 「今年の秋にニューヨークに行くねん。」「えーなあ。俺も一回行ったことあるで。」ポイントは once「今までに一回」=「今」を基準にすでに終わった動作を表すので現在完了形の出番です。

**Practice 14** →③「もう10年の付き合いやなあ。(=我々は10年間お互いを知っている)」ポイントは for ten years. 今年を基準にして、知り合ってから10年目という意味です。②=現在完了進行形がダメなのは know が進行形にできない動詞だからです。

**Practice 25** →① have passed since ...があるからという単純な問題。ただし意味は難しい。前半は「20年以上が経った」後半は「最初に科学者たちが食糧不足問題に一般大衆の関心に向けさせてから」つまり、科学者たちが20年以上前に食糧不足について警告していたのにもかかわらず、何の対策も進んでいない、みたいな意味です。

### (2) 完了進行形 have + been + ～ing

「ずっと～し続けている」という意味で、動作が基準点までずっと続いていたことを表します。現在まで続いていたなら現在完了進行形、過去のある時点までなら過去完了進行形になります。状態を表わす動詞=進行形にできない動詞はここでは使えません。

**Practice 15** →③ 「私の姪は7歳のころからずっと英語を習っています。」ポイントは since ...⇒これだけで何かの完了形になることが確定しますが、「習う」は動作です。この人の姪が7歳の時からずっと続いているので現在完了進行形がぴったりはまります。

**Practice 16** →① まず for years「何年もの間」で完了形確定。Play は動作なので完了進行形確定 before he got a chance「チャンスを得る前に」だから過去完了進行形決定。

**Practice 17** →④ ①～④のいずれを選んでも working とセットになって何かしらの進行形になります。‘for 15 years’があるので完了形の要素をプラスすることになります。さらに By next March「次の3月までには」と未来の要素も加えるので進行形＋完了形＋未来

**Practice 18** 「次の4月までにはあなたは7年間英語を勉強し続けたことになる。」By ...とか By the time ...は未来完了形の目印みたいなものです。ただし、study は動作を表すので、動作の継続は完了進行形になります。Practice 17 とほぼ同じ問題。

### (3)現在完了形にはならないパターン

現在完了形は過去をモロに表す言葉と一緒に使えません。反対に「過去のある時点から今までずっと」みたいに現在とのつながりを匂わせるような表現のときには現在完了形は威力を発揮します。

**Practice 2** →② three days ago は過去をモロに表すので③はダメです。では④は、というと過去完了形を使うには過去完了形を使わなければならない理由がなければ使いません。

**Practice 24** →② 現在完了であることは問題に書かれていますが、before, when ...は過去をモロに表すので、現在完了形とは一緒に使えません。

### (4)未来完了形 動作の完了が未来に設定されていれば未来完了になります

**Practice 10** →③「もしジョンが東京にもう一度行かなければならないとしたら、彼は今年5回行ったことになる」once again がキーワードになります。この「もう一度」は未来のことです。同時に～ times は完了形を呼ぶキーワードです。

**Practice 11** →④「店長が来るまでには修理の人がコンピュータを直してしまっているだろう。」By the time ...「...するころまでには」がポイント。店長が来るタイミングが未来の期限で、その期限までには修理の作業が完了している、ということです。

### (5)過去完了形 動作の完了が過去に設定されていれば過去完了になります。過去完了形で表される動作は過去のある時点までには終わってしまっています。逆に言うと、過去完了形は過去形とセットになっていることが多いはずですが。

**Practice 12** →④「私はコーヒーショップに傘を忘れてきてしまったことを思い出した。」ここでは「思い出した」、「傘を忘れてきた」という2つの動作が並んでいます。このうち「傘を忘れてきた」という動作は「思い出した」頃にはとっくに完了しています。

**Practice 26** 「私は会議に急いで行ったが、ついた時にはすでに終わっていた。」という意味ですが、③だけなぜか現在形でおかしいです。過去形にすれば④の過去完了形とぴったりセットになります。

## 3. 現在形

### (1)現在形なんか簡単！というわけにはいかないケースがいくつかあります。

**Practice 18** →① 時・条件を表す副詞節の中では未来のことを現在形で表す、というルールがあります。When とか if とかで始まる場合が多いですが、as soon as ...「...するとすぐに」も時を表す副詞節のひとつです。「彼が空港に到着したらすぐに教えてください。」という文で「彼が到着する」のは未来のことなのですが、ルールによりここでは敢えて現在形で表します。

**Practice 20** →② 典型的な問題ですね。「もし天気が良ければ」は未来のことですが、条件を表す副詞節内なので現在形を使います。

**Practice 19** →③ when you ...も時を表す副詞節なのですが、選択肢に現在形がありません。「あなたが読み終わったら、その本私に貸して」という文なのですが「読み終わる」のは未来のことなので現在形に...と答えたいところですが、「～し終わる」という意味を表すために現在完了形を使うこともあるのです。

### (2)ひっかけ

**Practice 21** →② when ...があるから現在形、とつい思ってしまうのですがこれがひっかけなんです。「時・条件を表す副詞節の中では未来のことを現在形で表す」というのがルールなのですが、「副詞節」というところがポイントなのです。副詞とはここでは修飾語と考えます。「節」とは主語と述語を含んだ語のグループのことを言います。when で始まる副詞節は「～する時、～したら」という意味になります。この問題では when she will come to see me next time は文中では目的語の働きをしていて、これは名詞節といいます。when で始まる名詞節は「いつ～するか」と訳します。以下の文を比べてみてください。

I don't know **when she will come** to see me next time. 名詞節 「彼女が次にいつ私に会いに来るか知りません。」

I will be happy her **when she comes** to see me. 副詞節 「彼女が会いに来たらとてもうれしい。」

**Practice 22** →① これもひっかけ。if it ...の部分は文中では目的語で名詞節になります。従って未来のことは素直に未来形で表します。

if で始まる副詞節は「もし～ならば」と訳し、if で始まる名詞節は「～するかどうか」と訳します。

「明日雨が降ったら」 if it rains tomorrow  
 「明日雨が降るかかどうか」 if it will rain tomorrow

#### 4. 未来形

未来を表すには will とか be going to などを使いますが、全く同じものではありません。

**Practice 23** →① 「我々は来月スピーチコンテストに参加するつもりだ」

②を選ぶと We are to be taken ...となつて be + to-不定詞になります。これには「～することになっている」と予定や運命を表す意味がありますが、be taken が受動態になっているので、take part in ...「...に参加する」という意味になりません。

③は be about to ...という「今まさに...するところだ」という意味になりますが to は to-不定詞の to なので...の部分には動詞の原形が来ます。

④は We are being taking ...となりますが、are + being で進行形、being + taking でも進行形と進行形が2重になっており、これは英語には存在しない表現です。

#### 並べ替え問題

**Practice 29** 上司は 来週, 休暇に出かけると 私に知らせてきた。

主語と述語の組み合わせは英語の文を作る基本です。これを「節」といいます。この文には2つの節があります。それぞれの節に入るべき単語がゴチャゴチャにならないように気を付けます。

┌───────────┐
┌───────────┐  
節 1
節 2  
 = 上司は私に知らせてきた + 来週休暇に出かける

[S] [V] me + [S] [V] [O] [M]  
 My --- in--- me + that h- w-- go--- o- v----- n--- w---.

ここでちょっと「節」についてもう少し説明します。英語では普通、必ず節が一つあります。これを主節といいます。この文にも一つ節を付け加えようとすると、新しい節の前には接続詞という言葉が付きまます。この文では that がこれにあたります。

**Practice 30** 「あなたが支援し、やさしくしてくれたので、私も自尊心を取り戻してきました。」

この文はこのままでは英語にできません。「あなたが支援し」だけでも、普通に考えたら You supported ...となるはずですが、この時点で問題の最初の Your = 「あなたが」ではなく「あなたの」と食い違ってしまうですね。こういう時は問題文を書き換えてから考えます。最初は Your であることは決まっているので「あなたの」で始められるように、

主語
目的語
述語  
 「あなたの支援とやさしさが私の自尊心を復活させた。」

[S] [V] [O]  
 Y--- s----- and k----- re----- m- self-r-----.

**Practice 31** 「新しい工場ができることで、町には 500 人分の新たな雇用が生まれる。」これも日本語を変えましょう。

主語
目的語
述語
修飾語  
 「新しい工場は500の新しい仕事を作り出す + 町のために」

[S] [V] [O] [M]  
 T---n---f----- w--- create 500 new jobs for the town.

**Practice 32** 「彼は私に、ギターの弾き方を教えてくれるだろうか。」この文も素直に英語になりません。まずは「～してくれるだろうか」というところです。I am not という出だしから考えて、その次に持ってこれそうな選択肢は形容詞 sure でしょう。I am not sure で「私は確信がない、自信がない」という意味になります。これが「～してくれるだろうか」と同じだと考えます。すると、「私は確信がない」 + 「彼が私にギターの弾き方を教える」

[S] [V] [S] [V]  
 I am n-- s--- + if h- w--- t---- m- h---t- p--- the g-----.

Practice 29 で説明したように、この文にはふたつの節があります。2つ目の節 if he will teach me ...の先頭に if という接続詞があることに注目してください。この if は Practice 22 に出て来ました。「もし～ならば」という意味なら条件を表す副詞節になり、その中の述語は未来のことも現在形で表すのですが、今回の if は名詞節で「～するかどうか」という意味だと考えられます。ということは未来のことは素直に未来形で表すので will teach となっています。

**Practice 33** 「やあ、阿部君しばらくですね。どうしましたか。」→考えるところは「しばらくですね」だけです。しかも It's been

という出だしもあるので楽勝です。「しばらくですね」は「あなたに最後に会ってから(今日までの間に)長い時間があります」と考えます。

S V  
It's b--- a l--- t--- + S V  
**since** w- m--- l---

この文にも節が二つあり、二つ目の節の先頭には **since** という接続詞があります。